



『盈たして進む』

思いやいの心をはぐくみます



12月8日（金）、人権集会を行いました。人権意識の向上を図り、差別をしない・許さない、そして自他の命を大切に育てる取組です。

子ども達は、「ありがとうの花」を心を込めて歌ったり、「すごろくトーク」をしたりして、お互いの考えを理解し、認め合いました。それぞれの学年で考えた人権宣言です。

1年生 ふわふわことばをつかいます。
こまっている人をたすけます。
だれにでもおなじたいどで
たくさんはなしたり
あそんだりします。

3・4年生 ぼくの心 わたしの心
みんなの心を大切にします。
自分がされてうれしいことを
あい手にもします。

2年生 あい手のことを考えよう。
声をかけ合いたすけ合おう。

5年生 一人一人を大切にし
みんな仲よし笑顔かがやく
5年生であり続けます。

6年生 自分の思いや考えをしっかりと伝えます。
友達の思いや考えをきちんと受け止めます。

また、集会の中で、私は、このような質問を子ども達へ投げかけました。

「ふざけているだけです」
「いじっているだけです」と言いながら、友達
に痛い思いや嫌な思いをさせていませんか？

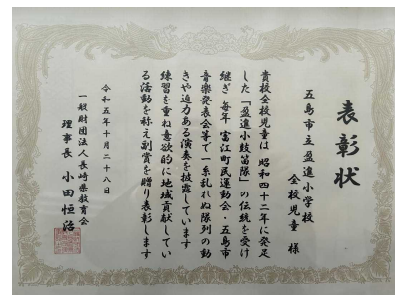
思い通りにいかないからといって、
チクチク言葉で八つ当たりしたり、
命令したりしていませんか？

仲間に入れてほしいと言ってくる友達や
下級生を正しい理由もなく断ったり無視し
たりしていませんか？

子ども達は、「遊びの延長」・「自分がリーダー」の意識で周りが見えなくなることがあります。（大人にも言えることかもしれません）だから、普段からそうならないように、私たち教師は、心を配り、指導を続けています。あるいは、誰かがそうなったときに、周囲の子ども達がどう行動すればよいのかも考えさせています。しかし、私たちに見えていない部分、足りていない部分があることも承知しています。ですから、保護者の皆様や地域の方々のお声かけなども必要としています。子ども達の言動に気になるころがあれば、遠慮なく教えてください。誠意を持って子どもの思いや願いを受け止めていきます。一緒に子ども達を育てていきましょう。

表彰！ 伝統はここにも！

わが校伝統の一つ『盈進小鼓笛隊』が、長年の功績をたたえられ、長崎県教育会から表彰を受けました。鼓笛隊は昭和42年に発足し、たくさんの卒業生の手によって56年の長き歴史をつないできました。すばらしいですね。



表彰! 伝統はここにも!